

チチコグサモドキ (父子草擬き)

名前の意味^{いみ}：チチコグサによく似ているので名付けられた。モドキは似ているけれども違うことを示すことば。

分類：双子葉類、キク科、ハハコグサ属

(キク科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい空き地、道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：北米

特徴：地面を丸く覆^{おお}う楕円形の葉、裏は白^{だえんけい}い、花は茶色。

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数^{ごうべん}：合弁、5裂^{れつ} (小さくてよくわからない)

花の時期：4 - 5月

食べ方：食べられるけれども、おいしくない。

見分け方：ハハコグサは葉の両面^{りょうめん}がやや白く、花は黄色。チチコグサは葉が細くて、茎の葉が少なく、茎の先に花が集まる。ウラジロチチコグサでは、花が咲いている時に根元に葉の集まりが残る。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)